

下井草駅周辺 まちづくりニュース 第8号

発行：令和6年2月 杉並区都市整備部市街地整備課鉄道立体係

まちづくりの
進捗をお知らせ
します！

第6回

下井草駅周辺地区まちづくり

オープンハウスを開催します！



日時

令和6年
(2024年)

3月9日 土

午後2時～5時

開催時間中、ご都合に合わせてお越しください。

申込
不要

入退場
自由

会場

西武新宿線下井草駅南口駅前広場

○雨天時：下井草駅南北自由通路

(駅構内改札外通路)

<案内図>



来場に当たってのお願い

※お車での来場はご遠慮ください。

※自転車は近くの駐輪場にお停めください。

※お子さま連れでご来場いただけますが、

お預かりする体制がございませんので、あらかじめご了承ください。



▲前回(令和5年10月13日、14日)の
オープンハウスの様子

展示パネルの主な内容

- 第6回ワークショップ内容紹介
- 下井草駅周辺道路・交通施設整備計画
 - 整備目標【3つの柱】(たたき台No.2)
 - 整備計画図(たたき台No.2)
- アンケート結果報告 など

パネル展示と合わせて、
対話形式で説明します。

※混雑状況によっては、対応が難しい場合
がありますのでご理解・ご了承の程よろ
しくお願いいたします。



お問い合わせ

杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体係
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
電話03-3312-2111 (内線3379)



裏面あり

第5回下井草駅周辺地区まちづくりオープンハウス【概要】

- ▶開催日時：令和5年10月13日（金）午後5時～午後8時／10月14日（土）午前9時～正午
来場者：計34人
- ▶会場：区立八成区民集会所 第2・3集会室

《道路・交通面の課題解決に向けた3つの整備目標について》

1 コンパクトな交通結節点機能の強化

- ・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。

2 歩行者の安全性の確保

- ・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。

3 みどり豊かなにぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- ・人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- ・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

》》》 主な意見 《《《

- ・当然の内容で皆が納得できるもの
- ・どこの地域でも当てはまる感じ。具体的なイメージや下井草の特色につながりにくい
- ・目標としてあたり前すぎ（少子化や高齢化を見据えて先手を打つようなアイデアを！）
- ・安全性が確保された上で駅前に集まれる空間があるとよい。

《整備計画図（たたき台No.1）について》



》》》 主な意見 《《《

- ・駅南のごちゃごちゃは危険だと日々感じて、少しでも解消されることを期待する。
- ・しっかりまとまっていてイメージが沸いた。
- ・道路が狭いので、歩行者の安全性が確保されるのか心配。
- ・高架の場合、近隣の人達は家を移転となる。騒音は予想される。
- ・旧早稲田通りは歩道が狭く、ベビーカーや傘を使うときにとても不便を感じている。駅周辺のまちづくりと同時に電柱の地中化も進めてほしい。
- ・旧早稲田通り沿いは南北共通して危険。

第6回下井草駅周辺まちづくりワークショップ【概要】

- ▶開催日時：令和6年1月17日（水）18時30分～20時30分
- ▶会場：区立八成区民集会所 第2・3・4集会室
- ▶参加人数：17人

第5回のワークショップや第5回のオープンハウスでいただいた意見等をもとに、あらためて、整備目標と整備計画図をたたき台No.2として提示し、質問やご意見をいただき、区から回答しました。

《整備目標【3つの柱】たたき台No.2》

※下線箇所：たたき台No.1からの変更点

1 コンパクトな交通結節点機能の強化

- ・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- ・新しいモビリティの導入を図る。

2 歩行者の安全性の確保

- ・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。
- ・誰もが安心して快適に利用できるよう、歩行者空間のユニバーサルデザインを導入する。

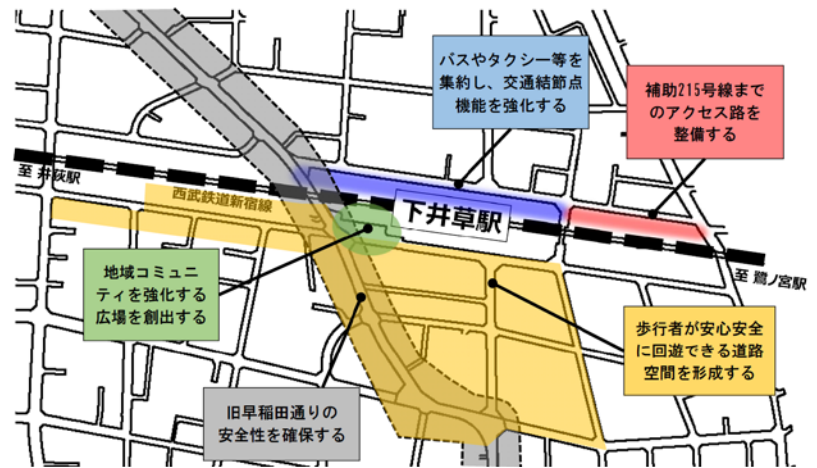
3 みどり豊かなにぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- ・様々な人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- ・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

》》》 主なQ&A 《《《

- Q：整備計画図を実現するまでのスパンはどれくらいを想定しているのか？
- A：時期は未定です。他の事例によると、20年以上かかると推定されます。
- Q：旧早稲田通りの拡張なしで渋滞解消はできないのではないか。
- A：連続立体交差事業で踏切が解消されることで渋滞は大きく解消されます。さらに、バス停を旧早稲田通り以外に確保することも有効と考えます。

《整備計画図 たたき台No.2》



》》》 主なQ&A 《《《

- Q：アクセス路を伸ばしたのはなぜか。その先の都市計画道路が拡幅される予定がないのではないか。
- A：補助215号線は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」における「優先整備路線」になっていませんが、将来の交通ネットワークを見据えて計画に盛り込みました。
- Q：バス停やバスルートを変えると、これまで利用していた交通弱者の方々への配慮が必要になるのではないか。
- A：「ユニバーサルデザインの導入」を整備目標に盛り込んだ上で、具体的な計画を立てる際に検討していきます。

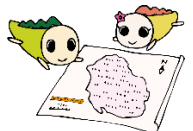
その他の意見や過去の資料は、区公式ホームページ（二次元コード）からご覧いただけます。



二次元コード

【検索方法】

<https://www.city.suginami.Tokyo.jp/guide/machi/machidukuri/1071284.html>



下井草駅周辺まちづくり

検索